

やまのめ

一関市立山目小学校 校報 No.28
2024. 2. 9 文責:校長 菊池



働くことでの 生きがいと幸せ 6年 総合学習 キャリア教育講演会

将来へのあこがれと自分の未来づくりに向けた6年キャリア教育講演会。今年は、次の4名のゲストティーチャーをお迎えし、お話を伺いました。

- ◆老舗菓子店の経営者
- ◆酒蔵の取締役兼杜氏
- ◆整骨院院長の柔道整復師
- ◆アパレルEC運営とWEBクリエイター

※ EC (Electronic Commerce) インターネットでのサービスや商品の売買

- ◆地元の生産物からつくるものの価値と、地域活性化への願い
- ◆地域でのコラボレーションやニーズを見極めたアイデアでつくり出す、新たな価値と可能性
- ◆相手の思いをよく聴くコミュニケーションの大切さ
- ◆好きな仕事のキャリアを生かし、一関からリモートで日本全国や世界を相手に働く喜び
- ◆今、学びを無駄と決めるのではなく、将来役立つことも多い



それぞれの道のプロのお話と表情には、たっぷりの魂と力強い芯が感じられました。



未来を生き、つくっていく子どもたちに、私たち大人が、未来への希望を示してあげたいと感じました。

【働くことが、自分とまわりの人々の幸せに】

◆ 校長日記 ◆ やさしい 頼もしい 5年生のお兄さんお姉さん 入学予定児 一日入学にて

先日、4月に入学を予定している子どもたちの一日入学体験と保護者説明会を行ないました。入学予定の子どもたちは、はじめはコチコチに緊張していました。教職員も声をかけましたが、子どもたちを安心させ、その子らしさを引き出してくれたのは、今年もお世話係の5年生でした。

コロナ禍が一段落した今年度、5年生は近くの保育園児との交流も体験することができました。その時の学びも、今回のお世話係の活動に生きているように思いました。5年生は間もなく最高学年となり、様々な場面で新1年生のお世話に取り組みます。やさしい頼もしい6年生になってくれるでしょう。

お世話された子もお世話した子も、共に大きく成長できる異年齢のかかわりを、これからも大切にしていきたいと思いました。



【やさしく見守り、声をかけていました】

◆ 祝 150周年 ◆ 自分たちで歴史をつくる 卒業生の思い 友情の像(昭和 53 年度卒業記念)

今から45年前の昭和54年(1979年)3月、幸町初代校舎の中庭に「友情の像」が設置されました。現校舎に改築された際、像は体育館北側へと移され、今も山目の子たちを見守っています。

ご自身も本校の卒業生で、友情の像設置当時の6年担任、石川和代先生は120周年記念誌に次のように記されています。

新校舎での一つ一つが山目小の歴史づくりになることを200余名の6年生が意識し、あらゆる活動に取り組んだ。その中で、「玄関前の中庭をもっと有効に活用したい」ということになり、当時の校長、子どもたちや教師集団が意見を出し合った。自由で楽しい校風をつくることを目的とした全校朝会、学団朝会の場となった。朝の新鮮な空気を胸いっぱい吸いこみ、青空を眺め、大きく羽ばたく日を夢見る広場にしたのである。



【友情の像】

そして、子どもたちから「この中庭に卒業記念となるものを贈ろう」との話がもちあがった。

(像制作 岩手大学 本田教授 藁谷氏)

「友情の像」は、自分たちで新たな学校の歴史をつくらうと志をもち、友情を育んだ6年生の思いが詰まった卒業記念品です。